



古中だより「坂道」

<くめざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和4年度 第21号

12月20日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 上野 康生

～授業参観、食に関する講話、学年懇談会、ご出席ありがとうございました～

お忙しい中、そしてお寒い中、保護者の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。長い2学期を通して、大きく成長したお子さんが一生懸命授業に臨む姿をご覧になれたことと思います。

また、食に関する講話では朝食を摂ることの重要性、食生活と学力・体力の関係、肥満を防止するためのバランスの良い食事などについて参考になる内容がたくさんあったことと思います。冬季休業中は部活動などで登校する機会も少ないため、各家庭において規則正しい生活を送ることがとても大切です。そのような中でお子さんの食生活についても講話の内容を十分に生かしていただけるよう、よろしくお願いします。

併せて、各学年懇談会ではSNS等の使用について話題にさせていただきました。2学期を振り返りますと、大きな被害等はありませんでしたが複数の人とのやりとりの中で被害に遭いそうになったケース、友人とトラブルになったケース、長時間の使用によって生活習慣が乱れたケースなどが見られました。学校でも様々な機会を通してSNS等の使用については指導しておりますが、ネット上のトラブルなどに巻き込まれないようにするためには、お子さんのインターネットの使用やゲームの使用状況を保護者の皆様が把握するとともに、家庭でのルールを決めたりフィルタリングをかけたりすることが何より大切です。改めて、お子さんとともに話し合う機会をもっていただきたいと思います。よろしくお願いします。

なお、2学年につきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授業参観及び学年懇談会を中止とさせていただきます。学年懇談会では受験対策教材や修学旅行についての説明を予定しております。お子さんを通して資料等を配付しますので、ご質問等がございましたら学年担当までご連絡ください。



食に関する講話

【1年1組】 国語
永瀬 雄太 教諭
「方言の果たす役割」



【1年2組】 保健体育科
鈴木 雅人 教諭
「マット運動の演技発表」



【3年1組】 英語科
滝田富喜夫 教諭
吉田 忠夫 講師
エンジェル ALT
「仮定法の用法」



【3年2組】 数学科
齋藤 守 教諭
圓谷 四郎 講師
「三平方の定理の意味理解」



～ 新生徒会役員決定！ ～

いよいよ3年生に代わって、学校の中心となります。古中の素晴らしい伝統を受け継ぐとともに、新たな伝統づくりに取り組んでほしいと思います。任期は1月からとなりますが、自分の掲げた公約をいかに実行に移すのか、今から考えておいてほしいと思います。新役員と抱負は次のとおりです。

なお、任命状は終業式の日に伝達します。

- 会長 矢内 漣(2年)「学校一体となって古中をもっとよりよい学校にしていきたいです。」
- 副会長 鈴木 理央(2年)「全校生一人一人の意見に少しでも寄り添えるように頑張りたいです。」
- 副会長 佐川 柚葉(1年)「全校生徒の模範となり、学校をもっと盛り上げていきたいです。」
- 庶務 水野 涼雅(2年)「集団をまとめて集団からの意見をひろえるようにします。」
- 庶務 有賀 悠月(2年)「より良い古中を目指し、生徒会の一員として頑張りたいです。」
- 庶務 根本 絆(2年)「みなさんの期待を裏切らないように精一杯頑張ります。」
- 庶務 角田 祥恵(1年)「生徒会役員という自覚を持って、学校を明るくしていきます。」

～ 相手の立場になって行動しましょう ～

19日(月)、人権作文コンテストの表彰式が行われました。大楽歩未さん(3年生)の作品「感染者側の心を救う」が福島県大会に推薦され、見事、白河人権擁護委員協議会子ども人権委員長賞を受賞しました。本当におめでとうございます。

大楽さんは、家族が新型コロナウイルスに感染した際に、それまで気付くことのできなかった「感染者側の心情」をテーマとして、当時の苦悩や様々な人からいただいた思いやりのある言葉や行動のありがたさを綴るとともに、感染者への心ない言葉があったらいいことなどを訴えました。そして、最後に「相手の立場を考えて行動をすればきっと心は救われると思う。私は、今回の経験を生かして、より相手の気持ちに寄り添えるようになりたいと思いました。」と締めくくりました。

コロナ禍が続く毎日ですが、大楽さんの訴えを決して忘れずに生活したいものですね。

